



事務局よりお知らせ

ふるさと納税枠(控除上限額)が拡大されました

ふるさと納税は自治体に寄付することで税の控除が受けられる制度です。平成27年度の税制改正により、ふるさと納税制度が拡充され、2,000円を除く金額が控除されるふるさと納税枠が現行の約2倍に拡充されました。(H27.1.1以降のふるさと納税から対象)

ふるさと納税枠 約2倍	拡充前	拡充後	全額*控除される ふるさと納税枠の目安 <small>(※2,000円を除く)</small>	
			拡充前	拡充後
	300万円	12,000円 → 23,000円		
	500万円	30,000円 → 59,000円		
	700万円	55,000円 → 108,000円		

*給与所得者、夫婦^②の場合
②ふるさと納税をした方の配偶者に収入がなく、控除対象者扶養親族がないケース

ひろがる・ひろげる
プロジェクトポケットカード
をつくりました

課題解決に向けてがんばる人を応援したい。とよなか夢基金を身近に感じ、活動を知っていただくことを目的に名刺サイズのポケットカードができました。お店や企業などへ設置にご協力をお願いします。

ショーウィンドー
で紹介

社会貢献活動の輪をひろげていくことを目的に、ご寄付いただいた企業・団体を「市民活動情報サロン(豊中駅北改札口前)」のショーウィンドーで紹介しています。お近くに行かれる際はぜひお立ち寄りください。

ご寄付をいただいたみなさま



善堂の輪が広がるように
名前を公表しました

平成26年10月～平成27年9月に寄付をくださった方々をご紹介します
個人のみなさま (敬称略|五十音順)

猪塚美代子 上田まり子 金定繁次 川野達也 島内駿 清水高子 田岡勇志
遠山一喜 中島諒平 永田良昭 西村拓夫 西山芳樹 長谷川かおり
山崎敦子 山田さえ子 山田英和 ぐるぐるアート豊中世話人会 匿名27人

団体・法人のみなさま (敬称略|五十音順)

有限会社池田ニット 上野電気工業株式会社 公益社団法人大阪府看護協会
大島ショッピングセンター 御菓子司京屋 岡町西商店会
株式会社新明和南商店 足の神様服部天神宮 北摂護書 株式会社ホクセツ
谷木商事 特定非営利活動法人ボランティア労力ネットワーク蛸池支部
南桜塚ゆうの会 匿名1団体

voice

寄付者の方から助成事業へ応援のメッセージをいただくことも多く、活動者にとって大きな励みとなっています。お寄せいただいたご寄付の想い、メッセージをホームページでご紹介しています。



NPOに使ってほしいです

活発な市民活動を
応援します環境づくりに
お役立てください子どもたちのために
使ってほしい豊中の市民活動のお役に
立てばうれしいです豊中が元気になれるような
活動を期待しています

「とよなか夢基金」ニュース

地域でがんばる人たちへ届けます



とよなか夢基金は、ボランティア団体やNPO、自治会など市民が行う自発的な社会貢献活動を応援する基金です。



わたしとあなたの
未来をつくる。

だんらんしんぶん
団長屋プロジェクトは、子ども主体の多世代交流の拠点をめざして平成25年(2013年)に蛸池西町で活動がはじまりました。

平成27年度、「とよなか夢基金」助成の交付決定14事業のひとつとして、子どもがつくる多世代交流型ZINE(小冊子)「だんらんしんぶん」を発行します。第7号(11月号)発行に向けて、子どもたちは竹工作を学びながら、取材を行っています。

発行：豊中市市民協働部コミュニティ政策課 豊中市中桜塚3-1-1

TEL 06-6858-2041 ファクス06-6846-6003 メール npo@city.toyonaka.osaka.jp



家でもない、学校でもない、もうひとつの居場所

わにまーる放課後塾

ODEN

この日集まったのは、小学5年生から高校生までの15名。大学に行くために日本語を勉強している外国人家庭の生徒など幅広く、友達に誘われた子や、兄弟で来ている子もいました。

「わにまーる放課後塾」の時間構成は、40分間の勉強時間と20分間の休憩時間、そして再び40分間の勉強時間、最後は20分間の余暇時間という計2時間30分の構成です。勉強時間は、少人数で個別指導を行っています。講師が弾き語りや、子どもたちが耳を傾けるという場面もありました。家でも、学校でもない、一般的な塾とも違った子どもたちがいきいきできる「居場所」です。



ODENは、ひとり親家庭の子どもや外国人家庭の子どもへの学習サポートと居場所づくりを行っています。週2回、午後7時から午後9時まで、おかまコミュニティカフェ（豊中市中桜塚2-27-8 豊中市桜塚ショッピングセンター2階）で教室を開き、学習支援だけでなく家庭や学校の悩みを聞いたり、思いを共有したりすることで、精神的なサポートを行っています。

8月28日の夕方、「わにまーる放課後塾」に子どもたちが集まってきました。和気あいあいとおしゃべりしている子どもたちでしたが、午後7時になると自主的に、机に向かって勉強を始めました。この塾は、それぞれ違った科目を勉強し、自分にあったペースで学習を進めていくというスタイル。課題に集中している子、講師に質問している子、また子どもどうしで教え合ったりして、リラックスしながら学習に取り組める独特の雰囲気を持っています。

勉強時間、最後の20分の余暇時間という計2時間の組立て。少し長い休憩時間を設けているのが特徴です。休憩時間は、友達とおしゃべりしたり、勉強の続きをしたり、思い思いの時間を過ごします。また、講師も子どもたちに混ぜて、子どもの話を傾けたり、遊びに参加します。講師が弾き語りや子どもたちが耳を傾けるという場面もありました。家でも、学校でもない、一般的な塾とも違った子どもたちがいきいきできる「居場所」です。

「大学生生活のなかで、何か面白いことをしてみたい」と活動のきっかけを話す副代表の松野雄太さんと韓祐樹さん。2人は大阪大学の学生で、団体の中心メンバーです。現在は3人の講師で運営していますが、「子どもたちのための塾を続けていくためには、講師を集めることが必要」と、今後はチラシを大学で配るなど広報にも力を入れていく予定です。

出産や子育ての環境変化に伴う課題に取り組む

産後の母親支援「ママになった記念祭」

誕生教育劇団

1276座

妊娠前・産後の女性とそのパートナーを対象に、母親自身が持つ産む力と育てる力を発揮するためのしくみを伝え、女性が出産と子育てに前向きに取り組めるように支援します。

産後まもない母親を対象にした「ママになった記念祭」が7月1日に開催され、11組の母親と赤ちゃんが参加。赤ちゃん誕生の人形劇のほか、参加者全員で作る産道を通り抜け、赤ちゃんと対面する体験やグループで出産体験を話し合うプログラムがありました。参加者からは、「妊娠中や出産時に孤独を感じていた」といった声もあり、みんな熱心に耳を傾けていました。

どのプログラムにも妊娠中や出産時の気持ちを自然と思いつけるような工夫が盛り込まれていて、様々な不安や悩みを乗り越えた参加者全員を認め合う場となりました。

代表の古宇田千恵さんは「妊娠や出産の大変さや乗り越えたみなさん、赤ちゃんを大切に育てているお話から、ママの産み育てる力を感じて幸せな気持ちになりました」と挨拶しました。



誕生教育劇団1276座は、豊中を中心に北摂の小学校や幼稚園でオリジナル劇を上演し、お腹の中で大切にされ、素晴らしい力を持って生まれてきたことを子どもと保護者に伝えています。

地域住民と地域に暮らす外国人との出会いの場づくり

世界と子どもをつなぐカラフルキッチン料理教室

とよなかま

様々な国の異文化を小学生が学ぶ「カラフルキッチン」。8月3日は、メギーさんを講師に迎えてハワイの文化を体験します。まず、ハワイの移民の歴史を学びました。子どもたちは英語に戸惑っていましたが、次第に慣れていき積極的に手を挙げて発表するようになりました。

続いて、ココナツミルクを使った「ハワイアンケーキ」づくりに挑戦します。慣れない手つきでバナナを切り、パンケーキ生地を焼きました。「白いソースとバナナがのって家のは全然違う。美味しい！」と自分で作ったものを喜んで子どもたち。

「今後、公民館でも開催することとなり、広がりができました」と代表の嵯峨更佳さん。国際交流のニーズの高さや必要性を理解し、事業を継続するための努力をしている様子が伝わってきました。



とよなかまは、地域在住の外国人と日本人との交流をめざす活動をしています。「カラフルキッチン」では、講師の言葉や文化を紹介し、料理を作ってみんなで食べます。